


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある」









項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
総括判断	回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	

（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。生産活動は、電子部品・デバイスが自動車向けなどで低調となっているほか、輸送機械が弱い動きとなっているなど、弱含んでいる。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
生産活動	一進一退の状況にある	弱含んでいる	
雇用情勢	改善している	改善のテンポが緩やかになっている	
設備投資	元年度は増加見込み	元年度は増加見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	元年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	「下降」超幅が拡大	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	高水準となっている	高水準となっている	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続く見込みであり、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

スーパー販売は前年並みとなっており、飲食料品や紙類に買いための動きがみられる。百貨店販売は暖冬の影響により衣料品等が低調であるほか、感染症の影響による来店客数の減少などから弱い動きとなっている。コンビニエンスストア販売は前年を上回り、家電販売はテレビやパソコン等が好調であったが、いずれも感染症の影響により来店客数が減少している。ドラッグストア販売は新規出店効果のほか、買いため需要から日用品や飲食料品等が好調で前年を上回っている。ホームセンター販売は前年を下回っている。乗用車販売は前年を下回っている。旅行は国内、海外ともにキャンセルが相次ぎ急速に悪化している。このように、個人消費は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 例年より暖かく鍋物用の食材が振るわなかったほか、野菜の生育がよく相場安となった。一方、感染症の影響で巣ごもり需要の高まりから内食が増えるなど購買動向が大きく変わり、米や冷凍食品等がよく売れている。(スーパー、大企業)
- 暖冬でコートやブーツ等の冬物商品が低調だった。また、感染症の影響により外出を避ける動きから来店客数が減少しているほか、営業時間を短縮しており週末には臨時休業もしている。(百貨店、中小企業)
- 種類が豊富なこともあって冷凍食品が引き続き伸びている。一方、感染症の影響による外出自粛から、駅の周辺店舗などでは来店客数が大幅に減少している。(コンビニエンスストア、大企業)
- 感染症の影響で、1月下旬からマスクやアルコール消毒液の需要が急増した。2月下旬には紙類の需要が急増したほか、外出を控える動きから冷凍食品やレトルト食品、カップ麺等が大幅に伸びている。(ドラッグストア、大企業)
- パソコンが一部OSのサポート終了に伴う買替需要により好調が続いていたほか、テレビも4K対応大画面製品を中心に引き続き好調となっていたものの、2月下旬からは感染症の影響で来店客数が減少している。(家電量販店、大企業)
- 感染症の影響で、全国的に外出自粛が続くなか、来店客数が減少している。生活必需品とまで言えない乗用車をこのタイミングで購入する顧客は少ない。(業界団体)
- 感染症の影響で、国内、海外ともキャンセルが多数発生し、過去に類を見ないほどの打撃。収束時期が見通せず、先行きもかなり厳しい。(旅行代理店、大企業)

■ 生産活動 「弱含んでいる」

電子部品・デバイスは自動車向けや産業機械向けなどで低調となっている。輸送機械は自動車部品などで弱い動きとなっている。生産用機械は半導体メーカーで設備投資を増やしていることなどから、増加している。なお、足下では感染症の影響がみられる。このように、生産活動は、弱含んでいる。

- 自動車向けは、感染症の影響で各自動車メーカーの海外工場で休止や減産を行っており、需要は減少傾向となっている。また、中国からの部品の調達が遅れ気味となっているため、別の調達先を模索している。(電子部品・デバイス、大企業)
- 自動車向けや産業機械向けは、米中貿易摩擦の影響に加え、感染症の影響で各メーカーの中国工場の稼働が低下しており、受注が減少している。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 自動車部品は、中国を中心とした海外経済の減速に加え、感染症が受注や生産に影響しており、低調となっている。(輸送機械、大企業)
- 全世界的な自動車関連の落ち込みに加え、感染症の影響で中国の自動車工場が稼働しなかったことにより生産が減少している。(生産用機械、中堅企業)
- 5G関連の需要を背景に、半導体メーカーに設備投資を増やす動きがみられる。(生産用機械、中堅企業)

■ 雇用情勢 「改善のテンポが緩やかになっている」

有効求人倍率は高水準で推移しているものの、このところ低下している。新規求人数は前年を下回っている。完全失業率は低水準となっている。なお、足下では感染症の影響がみられる。このように、雇用情勢は、改善のテンポが緩やかになっている。

- 求人票の記載項目の拡充により、求人を見送る動きがみられたことが、有効求人倍率の低下に影響している。(公的機関)
- 3月以降、感染症の影響で業況が悪化している事業主等から、雇用調整助成金等に関する問い合わせが急増している。また、足下では新規求人がかなり減少しており、雇用へのさらなる影響が懸念される。(公的機関)

- **設備投資** 「元年度は増加見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」2年1-3月期
 - 製造業では、木材・木製品等で減少見込みとなっているものの、輸送用機械、化学等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売等で増加見込みとなっているものの、運輸・郵便、電気・ガス・水道等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。
- | | |
|--------------------------------|-------------|
| ➢ 生産ラインの改良投資や建屋増築工事により増加する見込み。 | (輸送用機械、大企業) |
| ➢ 前年度に建物建設が完了した反動減により減少する見込み。 | (運輸・郵便、大企業) |
- **企業収益** 「元年度は減益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」2年1-3月期
 - 製造業では、情報通信機械等で増益見込みとなっているものの、輸送用機械、電気機械等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業では、宿泊・飲食等で増益見込みとなっているものの、建設、運輸・郵便等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
 - **企業の景況感** 「『下降』超幅が拡大」(全産業)「法人企業景気予測調査」2年1-3月期
 - 現状(2年1~3月期)は「下降」超幅が拡大している。先行きは2年4~6月期に「下降」超幅が縮小し、2年7~9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。
 - **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回っている。
 - **公共事業** 「高水準となっている」
 - 前払金保証請負金額は、震災関連工事等が減少しており前年度を下回っているものの、引き続き高水準となっている。
 - **消費者物価** 「前年を上回っている」
 - **金融** 「貸出金残高は、前年を上回っている」
 - **企業倒産** 「件数、負債総額とも前年を上回っている」

3. 各県の総括判断

	前 回 (2年1月判断)	今 回 (2年4月判断)	前 回 比較	総括判断の要点
青森県	緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
岩手県	緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
宮城県	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
秋田県	持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
山形県	緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。
福島県	回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	↓	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっており、生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。